

当面必要な費用と将来分の費用について

(患者、無症候性キャリアとも提訴率100%の場合)

総額 最大約3.2兆円

		当面(5年程度)	将来分(25年程度)
現在の患者分等の費用 (除斥期間を経過した慢性肝炎患者を含む)		0.6兆円 (4.5万人程度)	
	一括金 (50万円)	0.2兆円 (40万人程度)	
無症候性キャリア 分の費用		0.1兆円	0.6兆円
	定期検査費・ 交通費等		
病状進行者分の費用 (見込み)		0.2兆円 (1万人程度)	1.5兆円
計		1.1兆円	2.1兆円

※ 上記に加え、弁護士費用(約300億円)、塩基配列等検査費用(約100億円)、団体加算金(5億円)が別途加算される